

JASDAQ

証券コード：5742

第42期 事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第42期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

当事業年度における経済情勢は、米国経済が緩やかな景気回復傾向となったものの、欧州経済は金融不安が長期化し、またアジア経済は中国等を中心に経済成長の減速傾向が認められ、先行きの見通しは、依然として不透明な状況で推移いたしました。わが国経済については、震災からの復興需要に加え、新政権による経済・金融政策への期待感から第4四半期には円安・株高基調へ転じ、景気回復への期待が高まっておりますが、実質的な景気回復は今後の政策によるものと思われれます。

このような状況のもと当社は、長引く円高を背景として海外拠点へ生産シフトを図る自動車業界への検査・洗浄装置等、FA装置（FA：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）の受注確保に努め、売上高は堅調に推移いたしました。またこれらFA装置に関連する生産設備ラインにも当社主力製品である「ALFA FRAME® SYSTEM（アルファフレームシステム）」をご利用いただけるよう、独自の提案型営業を展開するとともに、平成24年4月に法人のみならず個人のお客様でも購入が容易なインターネット販売サイト（名称：NIC Direct）を立ち上げ、また、平成24年8月には営業所（アルファフレーム東海）を新たに開設するなど、販路拡大及び営業体制の強化を図りました。

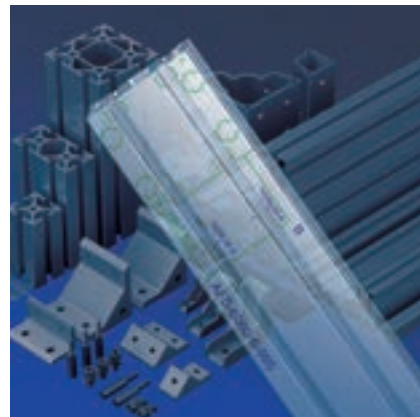
なお、半導体及びフラットパネルディスプレイ（以下「FPD」という。）業界向けでは、当事業年度の第4四半期よりFPD業界向け設備投資案件の引合い・問合せが活発化しており、受注確保に向けた営業活動を一層強化しております。

これらの結果、当事業年度の売上高は、5,363百万円（前期比10.1%減）、営業利益は192百万円（前期比28.1%減）、経常利益は200百万円（前期比27.1%減）、当期純利益は120百万円（前期比21.1%減）となりました。

① アルファフレーム部門

アルファフレーム部門におきましては、アルファフレームシステムの拡販ツールである「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。その結果、当社がこのような高付加価値販売に注力してきたお客様からの引合いが増加し、当部門の売上高は伸長いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,639百万円（前期比26.2%増）となりました。



アルファフレームシステム



カップ式洗浄装置

② 装置部門

装置部門におきましては、当社の技術力を活かした質の高いFA装置の提案活動を推進いたしました。その結果、海外拠点での生産強化を図る自動車部品製造関連企業向けの洗浄装置を中心としたFA装置等の売上高が堅調に推移いたしました。FPD業界の不振から、クリーンブース等の構造物の売上高は低調な結果となりました。

また、前事業年度には大型機械設備案件の売上高が伸長しましたが、当事業年度では当該設備案件の規模縮小等により、売上高は前事業年度を下回りました。

この結果、当部門の売上高は2,458百万円（前期比32.8%減）となりました。

③ 商事部門

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類、工具・ツール等の消耗品の売上高が、当事業年度の下半期では伸び悩む状況となりましたが、機械部品、自動車部品製造関連企業より、生産機械設備の受注を継続的に確保したことによって売上高は伸長いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,265百万円（前期比24.9%増）となりました。



生産機械設備

平成25年3月期の期末配当につきましては、1株当たり普通配当900円とさせていただきます。当社は、将来の収益力向上を図るために継続的な研究、開発投資を行いながらも内部留保の確保を図りつつ、「株主に対する利益還元」を重要な経営課題の一つとして捉え、経営成績やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、株主の皆様にご理解していただけるよう安定的及び継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。

なお、平成25年5月10日に公表のとおり、今後増加が見込まれている大型構造物案件等に対応するために、アルファフレームの切断工程からマーキング工程に至る一貫した生産ラインの拡張・充実を目的とする新工場を、当社立山工場敷地内に建設することを決定いたしました。この新工場は大型構造物案件の生産性向上に寄与するとともに、新たな付加価値創造をサポートする研究開発棟としての役割も担っていく予定であります。

この度の新工場建設を機に生産体制の一層の充実を図り、よりコストパフォーマンスに優れた製品群の提供に努め、お客様、株主、社員及び地域社会のご期待に応えるべく、全社を挙げて社業の発展を図る所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

代表取締役社長

西川 浩 司

事業の概況

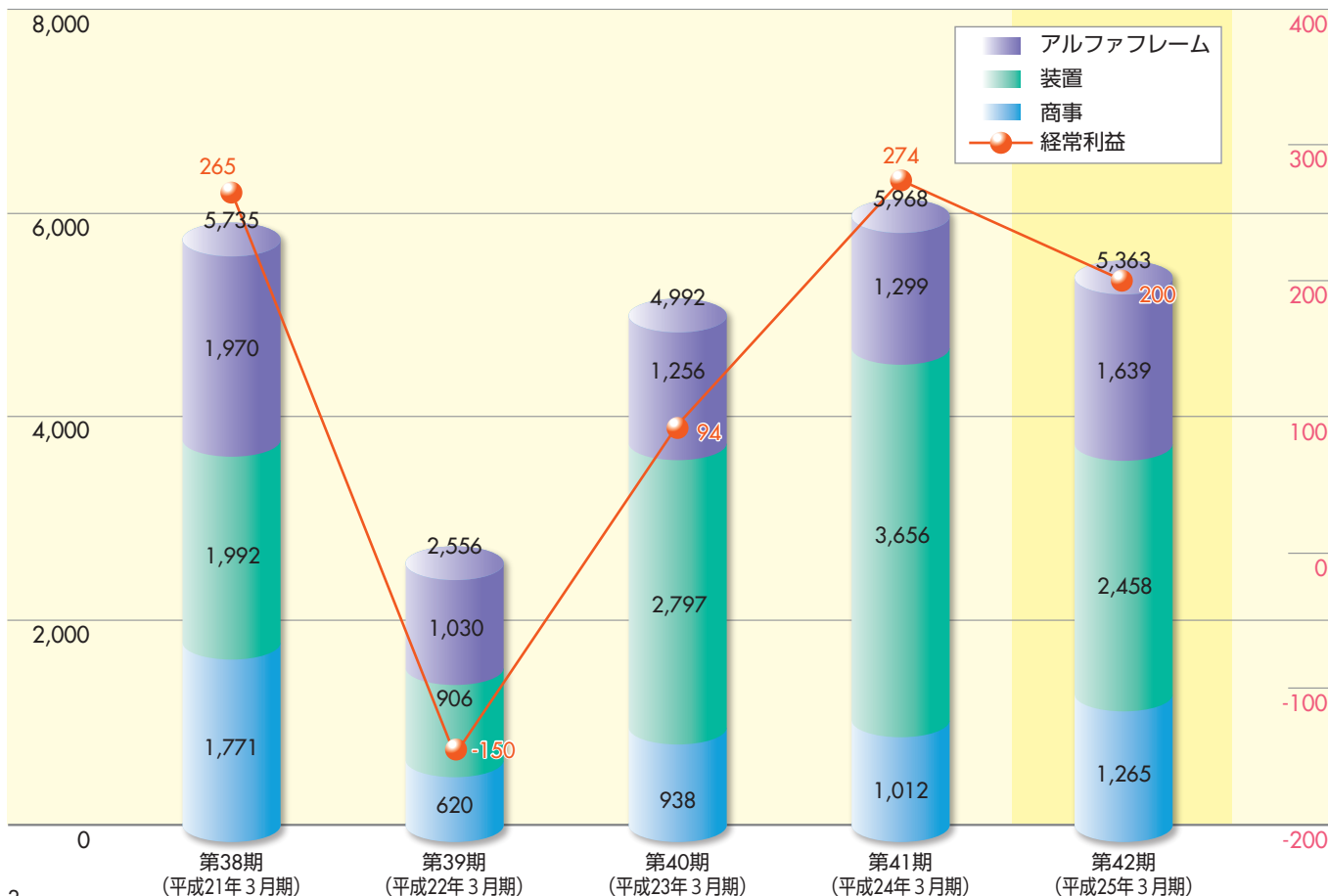
セグメント別の売上構成

(単位：千円)

区 分	第41期		第42期		増 減	
	平成24年3月期		平成25年3月期		売上金額	前期比
	売上金額	構成比	売上金額	構成比		
アルファフレーム部門	1,299,079	21.8%	1,639,200	30.6%	340,121	26.2%増
装置部門	3,656,655	61.2%	2,458,979	45.8%	△1,197,676	32.8%減
商事部門	1,012,727	17.0%	1,265,330	23.6%	252,603	24.9%増
合 計	5,968,462	100.0%	5,363,510	100.0%	△604,952	10.1%減

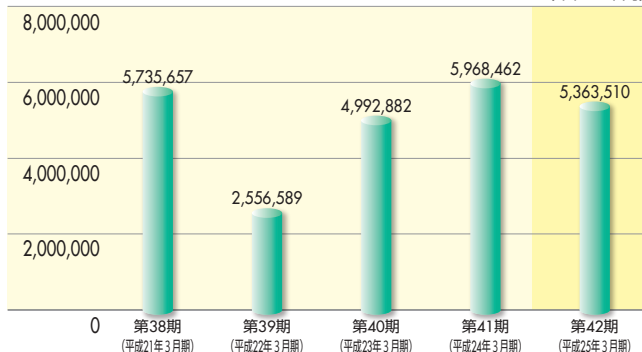
セグメント別売上高及び経常利益の推移

(単位：百万円)



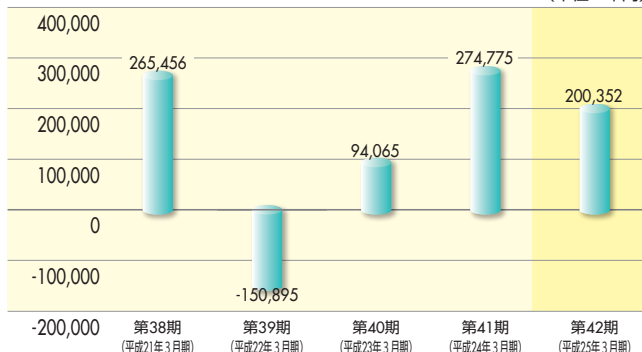
売上高

(単位：千円)



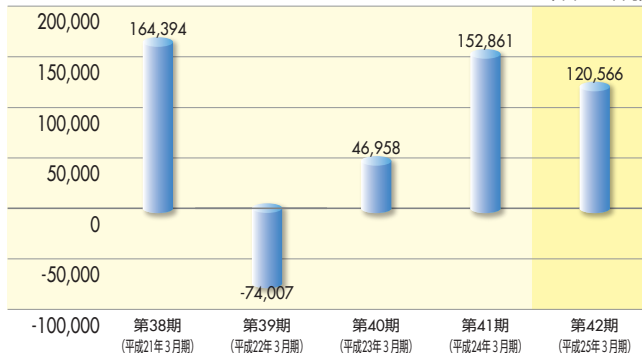
経常利益

(単位：千円)



当期純利益

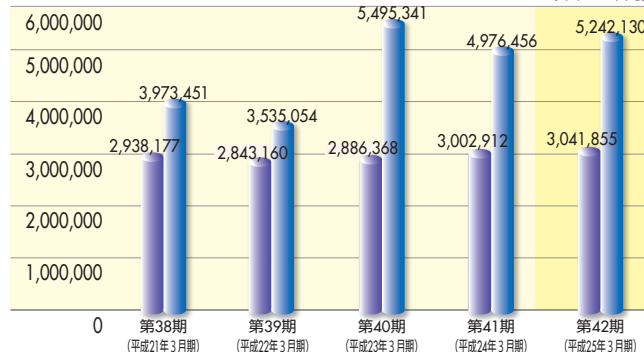
(単位：千円)



純資産額/総資産額

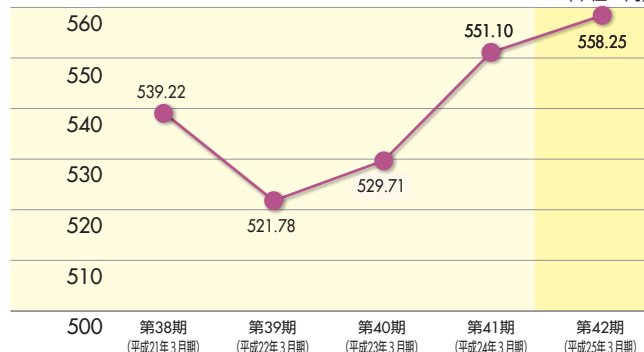
純資産額 ■ 総資産額 ■

(単位：千円)



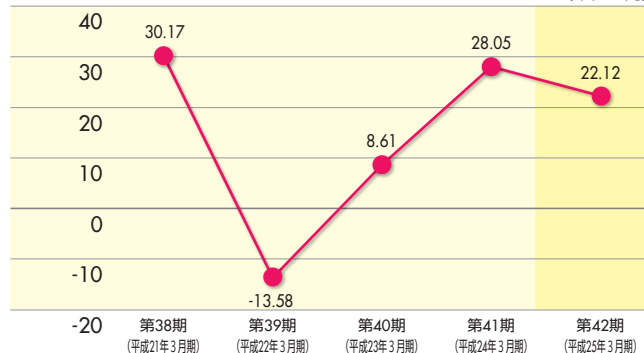
1株当たり純資産額 (注)

(単位：円)



1株当たり当期純利益 (注)

(単位：円)



(注) 平成25年4月1日付で、普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。第38期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目		金 額
資 産 の 部		
流 動 資 産		3,561,623
固 定 資 産		1,680,507
有 形 固 定 資 産		1,157,278
無 形 固 定 資 産		10,828
投 資 そ の 他 の 資 産		512,400
資 産 合 計		5,242,130
負 債 の 部		
流 動 負 債		2,015,072
固 定 負 債		185,202
負 債 合 計		2,200,274
純 資 産 の 部		
株 主 資 本		2,993,199
資 本 金		156,100
資 本 剰 余 金		146,100
利 益 剰 余 金		2,725,410
自 己 株 式		△34,410
評 価 ・ 換 算 差 額 等		48,656
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		48,656
純 資 産 合 計		3,041,855
負 債 及 び 純 資 産 合 計		5,242,130

損益計算書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位：千円)

科 目		金 額
売 上 高		5,363,510
売 上 原 価		4,338,646
売 上 総 利 益		1,024,864
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		831,908
営 業 利 益		192,955
営 業 外 収 益		7,441
営 業 外 費 用		44
経 常 利 益		200,352
税 引 前 当 期 純 利 益		200,352
法 人 税 等		79,786
当 期 純 利 益		120,566

株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本							評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 資 産 合 計		
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	利益剰余金合計						
当 期 首 残 高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	1,231,480	2,670,230	△ 34,410	2,938,020	64,892	64,892	3,002,912
当 期 変 動 額												
剰 余 金 の 配 当						△ 65,386	△ 65,386		△ 65,386			△ 65,386
当 期 純 利 益						120,566	120,566		120,566			120,566
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										△ 16,236	△ 16,236	△ 16,236
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	—	—	55,179	55,179	—	55,179	△ 16,236	△ 16,236	38,943
当 期 末 残 高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	1,286,660	2,725,410	△ 34,410	2,993,199	48,656	48,656	3,041,855

当社は、地球環境に優しくリサイクル性に優れたアルミ構造体「アルファフレームシステム」の開発・設計・製造・販売を行う「アルファフレーム部門」。アルファフレームの特徴を活かし、各種工場で使用される洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置及び、クリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行う「装置部門」。上記2部門のメーカー機能を活用した設備導入提案営業及び工業生産財を取り扱う「商事部門」。これら3部門の相乗効果による高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を行っております。

3つの事業部門

アルファフレーム + **装置** + **商事** = **高付加価値技術**

アルファフレーム部門

アルミ製構造部材の国内でのパイオニア的存在
経験豊富なCAD設計陣による技術設計支援・サービス
豊富な製品群“1500以上”による多彩なシステムの提供
新製品開発力

装置部門

幅広い業界で利用される技術
先端技術力を持つ企業からの受注実績
特定の業界に依存しない製品体系

商事部門

「メーカー機能」を活用した設備の導入提案
工業用砥石を中心とした工業生産財の提供

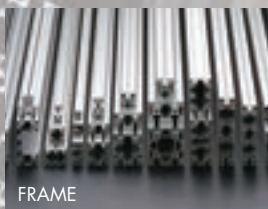


アルファフレーム部門

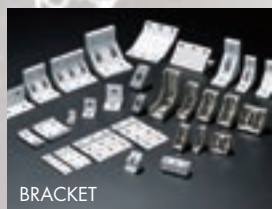
日本の自動化装置業界で24年の実績を持つ“アルミ構造体モジュール&システム”「アルファフレームシステム」は、多種のアルミニウムプロファイルとその接続ブラケット及びアクセサリパーツで構成された機械構造用アルミニウムフレームです。各種装置の筐体やカバーを製作する為の最適なプロファイル、パーツを揃えています。また、世界唯一のマーキングシステム™(フレームに直接組立に必要な情報をプリント)により敏速、確実な組立を行うことが可能です。

ALFA FRAME SYSTEM

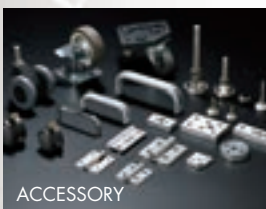
Automobile	自動車
Semiconductor/FPD/Clean	半導体・液晶・クリーン関係
Microelectronics/Machine	電子・精密機械
Pharmaceutical/Food	薬品・食品



FRAME



BRACKET



ACCESSORY

Marking System

マーキングシステム™はアルファフレームの表面に、部品リストや組立図面の情報を特殊なプリンタでマーキングすることで組立時間を大幅に削減することができる世界初のシステムです。

「アルファフレームシステム」「カクチャ™」「マーキングシステム™」のパッケージでご利用いただくことで、設計時間は1/10に短縮され、組立時間では3~4割の削減が可能となることにより、人件費を含めた組立完了までの総コストは当社従来比4~5割の削減を可能としております。



装置部門

半導体・電子・精密機械・医薬品・食品業界まで、あらゆる用途に応じた洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。アルファフレームシステムを基本部材として使用することにより、製造の効率化や短納期化が可能となります。

また、仕様を規格化した製品だけでなく、生産ライン構築の個別ニーズに対応し、お客様の必要に応じた様々な製品開発も行っております。

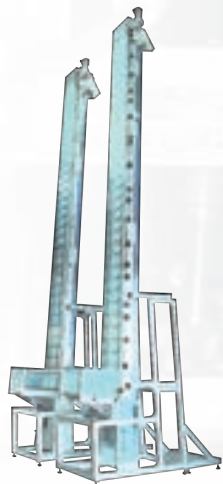
..... 生産ラインのトータルソリューション

FA装置(ファクトリーオートメーション)

- 洗浄装置
- 搬送装置
- 製造装置
- 検査装置



洗浄装置



コンベア



検査装置

クリーン関連

- クリーンブース
- クリーン ベンチ
- ミニエンパイロメント
- FFU
- 各種クリーン機器



クリーンストッカー



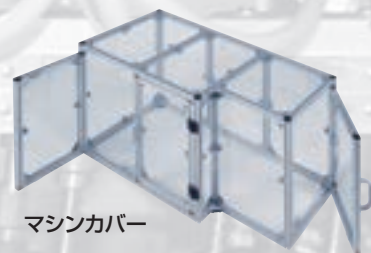
クリーンブース



簡易クリーンブース

工業製品

- マシンカバー
- マシンベース
- 収納ケース
- ストッカー
- 作業台
- 棚



マシンカバー



メディカルワゴン



セーフティシリーズ



商事部門

工業用砥石、工具・ツール等の消耗品と工場等の機械設備が主要な取扱商品です。これらは、リピート受注が多いことが特徴となっており、安定したビジネスを展開しております。また、メーカー機能を持った商事部門として、お客様のニーズに合わせ機械メーカーに注文し、当社装置部門が製作した自動搬送装置、洗浄機、検査装置等を組み合わせ、最適なフルオートメーションラインを提供しております。



油脂類



工業用砥石



工具・ツール

エヌアイシ・オートテック 直販サイト

NIC Direct

ーエヌアイシ ダイレクトー

平成24年4月2日よりメーカー直販WEBサイト「NIC Direct(エヌアイシ ダイレクト)」を開設いたしました。

「NIC Direct」では、アルファフレームシステム及び関連製品をラインナップしておりWEBでの注文が可能となっております。価格はお求め安い設定となっており、メーカー直販のメリットを最大限に活かしたサービスでお届けいたします。

「NIC Direct」の開設により、より多くのお客様にNIC製品をお届けすることが可能となります。



URL : <http://www.nic-direct.jp/>

**掲載製品: アルファフレームシステム製品
(アルミフレーム、接続部品、アクセサリ)**

会社の概要 (平成25年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.
設立	昭和46年5月17日
資本金	156,100千円
従業員数	151名
事業所	
本社	〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号
東京本社	〒135-0063 東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビルB棟11階
流杉工場	〒939-8032 富山県富山市流杉255番地
立山工場	〒930-0272 富山県中新川郡立山町塚越 398番176号
技術開発センター	同上
アルファフレーム東海	〒448-0801 愛知県刈谷市板倉町一丁目6番地6
アルファフレーム関西	〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西 二丁目4番29号
アルファフレーム九州	〒837-0907 福岡県大牟田市四箇新町 一丁目2番地

役員構成 (平成25年6月22日現在)

代表取締役社長	西川 浩 司
取締役副社長	西川 武
取締役	西尾 謙 夫
取締役	土山 邦 夫
取締役	野村 良 一
常勤監査役	藤島 敏 夫
社外監査役	土屋 重 義
社外監査役	白石 康 広

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ
東京都港区芝浦四丁目13番23号

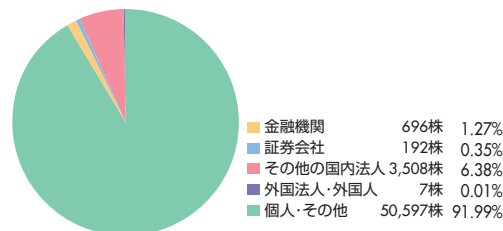
(注) 平成25年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を実施するとともに単元株制度を採用し、単元株式数を100株としております。

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 200,000株
- 発行済株式の総数 普通株式55,000株
(自己株式511株含む)
- 株主数 2,226名
- 大株主の状況

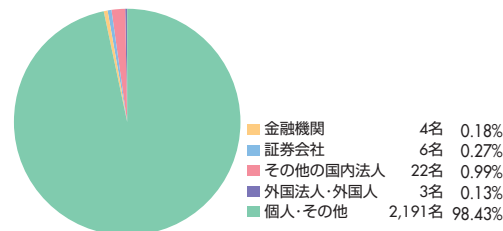
株主名	持株数
西川 浩 司	37,049株
三協立山株式会社	2,025株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	1,204株
ダイド一株式会社	700株
株式会社三井住友銀行	500株
西川 武	500株
植田 潤 次 郎	450株
鈴木 和 稔	329株
大久保 忠 重	302株
高津伝動精機株式会社	300株

(5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)



(注) 自己株式511株は、「個人・その他」に含まれております。

(6) 所有者別株主分布状況 (株主数)



(注) 自己株式511株は、「個人・その他」に含まれております。

■ 事業所一覧



富山本社
(富山県富山市)



立山工場、技術開発センター
(富山県中新川郡立山町)



流杉工場
(富山県富山市)



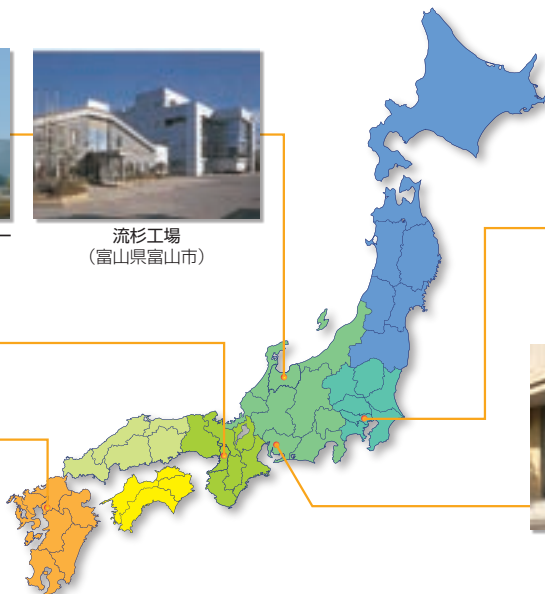
東京本社
(東京都江東区有明)



アルファフレーム関西
(大阪府東大阪市)



アルファフレーム九州
(福岡県大牟田市)



アルファフレーム東海
(愛知県刈谷市)

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 期末配当金 毎年3月31日
(中間配当を行う場合は9月30日)

そのほか必要があるときは
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

【公告の方法】

当社のホームページに掲載いたします
<<http://www.nic-inc.co.jp/>>

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることが出来なときは、日本経済新聞に掲載します。

【上場金融商品取引所】

大阪証券取引所



エヌアイシ・オートテック株式会社

富山本社

〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号

TEL: 076-425-0738 FAX: 076-422-2712